



2020年6月5日

各 位

会 社 名 エレコム株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 葉田 順治
 (コード番号 : 6750 東証一部)
 問 合 せ 先 業務統括部 部長代理 中島 洋
 電 話 番 号 06-6229-1418

2021年3月期連結業績予想および配当予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2021年3月期の業績予想および配当予想の開示を一時見合わせておりましたが、このたび2021年3月期連結業績予想の作成および配当予想の公表が可能となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 連結業績予想

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円銭 —
今回発表予想 (B)	50,274	7,000	6,709	4,600	104.92
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	49,164	6,927	6,652	4,549	106.09

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円銭 —
今回発表予想 (B)	105,000	14,800	14,200	9,880	225.34
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	100,861	14,121	13,598	9,705	224.91

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大による、テレワーク需要の拡大及び政府による「1人1台端末」の早期実現を目的とした「GIGAスクール構想」が今年度補正予算案

に計上され、その需要拡大が見込まれることから、前連結会計年度を上回る見込みとなりました。
この結果、2021年3月期の通期連結業績予想として、売上高105,000百万円、営業利益14,800百万円、経常利益14,200百万円及び親会社株主に帰属する当期純利益9,880百万円を見込んでおります。

(2)公表の理由

当社が2020年5月12日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」においては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により、当社グループの主要販売ルートである家電量販店等については店舗の閉鎖や営業の自粛が相次ぎ、また、当社グループが注力するBtoBビジネス分野においては、展示会の中止や販売代理店の営業自粛等が、当社グループの営業活動に影響を与え、その収束の兆しが見えない状況下で、その影響額を合理的に見通すことが困難であると判断し、業績予想の公表を見合わせておりました。

その後、政府により緊急事態宣言が解除され経済活動が再開されたこと及び、当社グループの2020年4月～5月の売上高の実績から、当社グループにおける影響は限定的であると考え、業績予想を作成し公表するものであります。

2. 配当予想について

(1) 配当予想

(基準日)	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	－円	－円	－円
今回発表予想	33円	33円	66円
(ご参考) 前期実績(2020年3月期)	30円	31円	61円

(2)公表の理由

上記の業績予想を勘案し、従来からの安定配当方針の継続も考え、2021年3月期の第2四半期末および期末の配当を上記のとおり予想しております。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上